

1月18日(月)全校朝会

初めに、元気よく朝の挨拶をしましょう。おはようございます。2021年が始まって早くも、2週間がたちました。今年は東京で「東京2020オリンピック・パラリンピック大会」が開かれます。



本当でしたら、昨年2020年に行われる予定だったのですが、新型コロナウイルスの影響で今年に延期になりました。2021年に行うことになりましたが、大会の名前自体は、東京2020大会のままなのです。

先週の火曜日には、オリンピック・パラリンピックの素晴らしさと、外国の文化を学ぶために、北ノ台小学校に外国人アスリートのサイラス・ジュイ選手と東京オリンピックマスコットのミライトワがやってきました。サイラス選手はアフリカのケニア共和国出身の陸上選手で、高校生の時に日本にやってきて以来、箱根駅伝の予選会で一位になったり、東京マラソンで2時間9分の記録をだしたりするなど長く陸上競技界で活躍してきました。最近、テレビドラマ「陸王」にもマラソンランナー役で出演するなど活躍しています。

そのサイラス選手が6年生と交流をして、ケニアについての話や、ケニア式の準備運動、走るときのポイントなど教えてくれました。サイラス選手の記録ですと、42.195キロというマラソンの距離を50m走でいうと9秒の速さで走り続けるそうです。みんなの全速力とほぼ同じ速さで、2時間以上走り続けるんですよ。すごいですね。なぜ、ケニアの選手は走るのが速いのかという話もしれました。その理由の一つに、学校が遠いということもあるそうです。サイラス選手は小学校時代5キロも離れた学校に通っていたそうです。しかもケニアには給食がないということで、お昼には一度家に帰らないといけないため、毎日学校に行き、お昼に帰って、また学校に行きそして帰るということで、20キロも走っていたそうです。さらに、家に帰ってから水を汲みに往復4キロも走っていたということです。毎日24キロも走るんです。北ノ台小から東京駅までの距離とほぼ同じ距離を走るというのですから、足も速くなりますね。また、学校に通うときには、必ず長い木の棒を持っていったそうです。この木の棒を何に使うかは、6年生が知っているそうですので、聞いてみてくださいね。

今日は、今年行われるオリンピック・パラリンピック東京大会とサイラス・ジュイ選手の話をしました。今年の7月と8月には、北ノ台小学校のみんなもオリンピック・パラリンピック大会を見に行く予定です。世界から集まる一流の選手の競技を目の前で見るチャンスです。今から楽しみです。東京でオリンピック・パラリンピック大会を成功させて、新型コロナで大変な思いをしている世界の人々が勇気づけられるといいなと思っています。お話を終わります。

